

Doc 6913

not used

Gopez

行類番號第六九一三號

一 級の級犯罪及ビ比律賓ニ於ケル

B 級の級犯罪ニ對スル比律賓陪席

檢事ノ冒頭陳述

一九四六年十二月 日

東京

國際檢察部

Doc 6913

樞東軍事裁判所裁判長並ニ各位

現存セル證人及ビ日本ノ各種新聞ニ依リ本法廷ハ  
世界霸權ヲ目指セル好戰國民ヲ作り上ゲル爲メニ  
被告連並ニ日本ノ他ノ指導者連ニ依ツテ採ラレタ  
基本政策ヲ示ス多岐ノ訴追證據物ヲ見且ツ聞キマ  
シタ。然シテ茲ニ回想セラルベキハ、其ノ政策ヲ  
實施スル爲メニ國家統制下ノ新聞紙、ラヂオ、  
學校、演劇、映畫、文藝、宗教ノ綜合的勢力ヲ動  
員シテ日本人民ニ狂信的好戰精神、全体主義並ニ  
極端ナル國家主義ノ盲目的忠實、侵略愛好並ニ凡  
テノ現實ノ又假想ノ敵國民ニ對スル熾烈ナル憎惡  
輕蔑ヲ教エ込シタ事デアリマス。

此ノ政策ガ花開キ實ヲ結ンダモノトシテ吾人ノ現  
狀ハ、無事ノ人ニシテ殺戮サレ般疾トナリ飢エ落  
ブレタ者數千萬、無食ノ都市村落ハ掠奪サレ家屋  
耕地ハ劫掠サレタトイフ始末デアリマス。

吾々ノ證據物件ヲ正當ニ評價スルニハ、憎惡ニ對  
スル此ノ陰險ナル國內宣傳ガ兎ニ角成功シテ、多  
量日本人ノ精神ヲ毒シ、ソノ結果彼等ノ人格性質  
ガ恰度振子ノ様ニ極端ナ親切禮儀カラ、極端ナ殘  
虐野卑ニ變ズルニ至ツタト云フ事實ヲ理解スル事  
ガドウシテモ必長デアリマス。コノ理解ナクシテ  
ハ、一渡日本人ト街路ヤ公共ノ場所又ハ家庭ヤ暮  
寮所デ附合ツテ、ソノ禮儀正シサヲ認メタ人ニト



Doc 6913

ツテハ、我々が如何程多クノ證據物件ヲ呈ゲテ、  
無数ノ日本人ガ宣傳ニ誤ラレテ戰場ニ於テ戰勝ニ  
臨ツタリ、目前ニ迫ツタ敗敗ニヤケニナツテ、ソ  
ノ全貌ヲ語レバ世界ヲ戰慄サセル様ナ野蠻行爲ヲ  
爲シタト述ベテモ、到底充分ニハ理解出來ナイデ  
アリマシヨウ。

吾々ハ日本人ノ凶惡行爲ハ個人ノ犯シタ偶然的  
非行デハナク全太平洋及亞細亞地域一般ニ行ハレ  
タ事、集会的虐殺、虐待、凌辱及ビ私有財産ノホ  
シイマ、ナル破壊ニ用イラレタ進口、方法ハ全部  
徹底的ニ同種ノモノデアツタ事、抵抗ガ強カツタ  
場合ニハ侵入者ハ余計ニ凶惡非道ヲ極メタ事、恐  
怖威嚇ハ被征服國ノ抗敵精神ト以テトラ破壊スル  
爲メノ日本的戦争方式ノ一部デアアル事が、日ガ經  
ツ中ニ解ルニ至ツタ事ヲ證據立テルデアリマシヨ  
ウ。第二ニハソレラノ凶惡行爲ハ一九三七年ノ昭  
和十二年ノ南京ニ於テ初メテ大々的ニ行ハレテカ  
ラ、一九四五年ノ昭和二十年ノ馬尼刺ニ於ケル劫  
掠ニ於テ最高潮ニ達スル迄八年間ニ亘ツテ居リマ  
ス。

第三ニ彼等ノ犯行ノ範圍ハ、緬甸、印度支那、馬  
來、蘭領印度、香港、比律賓、「ニューギニア」  
及ビ太平洋ニ於ケル諸島ヲ含ム地球上ノ領土ノ四  
分ノ一ニ及ンデ居リマシタ。第四ニ犯罪者ノ大部

Doc 6913

分ハ日本軍ノ凡テノ兵科ニ亙リ且ツ將校、下士官  
兵ノ別ガアリマセン。第五ニハ犠牲者ハ一般市民  
及ビ戦時俘虜、健康者及ビ病人、若キモ老イタル  
モ、男モ女モ剩ツサエ子供及ビ乳兒ヲモ含ム多ク  
デアリマシタ。



Doc 6913

最後ニ、權利ヲ侵害サレタ各國ノ政府カラ憤慨  
ヲ表シタ。公式抗議カ東京ノ政府ニ矢繼早ニ齎サ  
レマシタ、聯合國側「ラデオ」放送、ソノ情報ハ  
日本外務省ニ依ツテ政府部内ニ局限サレルヤウニ  
規則的ニ監督サレテキマシタガ、聯合國側ハ非戦  
闘員及ビ俘虜ノ虐殺及ビ虐待ヲ廣ク報道ニ且ツ激  
烈ニ非難シマシタ。

此等ノ抗議ヤ彈劾カナサレナクモ、日本ノ指  
導者ハ此等ノ恣ナル殘虐行爲ガ指導ヲ誤ラレタソ  
ノ多數ノ無辜ノ人民ニ對シテ多年ニ亘ツテ行ハレ  
タ事ヲ知ツテキタデアラウコトハ疑モアリマセン。  
彼等ハ抗議等ニハ眼モクレズ虛妄ノ宣傳ノ用具ト  
シテ之ヲ葬リ去ツタノデアル、又彼等ハソノ告發  
ヲ調査モセズ犯罪者ヲ決定シ裁判シ處罰シ以テ殘  
虐行爲ノ再發ヲ防ガウトモセズ、犯行ガ續クノヲ  
許シ又ハ默認シテキタノデアリマス。

此等犯罪ノ型ノ一部ハ既ニ中國ニ於ケル事件ノ  
呈出ト故「ワイルド」陸軍大佐ノ廣汎ニワタル證  
言ニヨツテ描カレテ居リマス、今我々ハ總計一三  
萬一、〇二八人トイフ驚クベキ多數ノ米國人及比  
島人ガ「サデイスティック」ナ敵ノ手ニカ、ツテ殺



Doc 6913

人、殘虐、飢餓、殴打、虐待等ニ依リ恐ルベキ死ヲ見タ  
事ニ關スル證據ヲ以テソノ型ヲ更ニ示サウト思ヒ  
マス。此ノ數字ハ戰鬪ニ依ル死傷者數ヲ示シテキ  
ルノデハアリマセン。又戰場デ死ンダ者ハ之ヲ含  
ンデ居リマセン。又更ニソレハ、米國人及ビ比島  
人ニシテ死ハ之ヲ免カレタレドモ、名狀スベカラ  
ザル苦ト屈辱ノ試煉ヲ受ケタ所ノ無限ニ多數ノ者  
達ヲ含ンデハ居リマセン。

證據ニ依リ、我々ハ日本人ノ比島非戰鬪員ニ對  
スル殘虐行爲ハ同國ノ中心タル「マニラ」「ヤセ  
ブ」「イロイロ」ノ如キ他ノ少數都市ニ限ラレタ  
モノデハナク凡ユル都市殆ンドスベテノ大キナ町  
無數ノ村及ビ多島嶼ノ凡ユル主要島嶼ニ及ビ極北  
端ノ「バスコ」「バタネス」カラ極東ノ「ダヴァ  
オ」市マデ、西ハ「ブエルト・プリンケサ」「バ  
ラワソ」カラ極東ハソノ端ノ「タヤバス」ニ亘ツ  
テ居ルコトヲ立證致シマス。コレヲ事件ハ、日  
本憲兵隊陸戰隊及ビ陸海軍人ニ依リ性別、年齡階  
級ヲ問ハザル一切ノ比島人ニ對シテ一九四一年ノ  
昭和十六年ノ十二月ヨリ一九四五年ノ昭和二十年  
八月ニ至ル迄ノ日本占領ノ全段階ニ於イテ犯サレ  
タモノデアリマス。

5.



Doc. 6913

八九、〇〇〇人ノ比島非戦闘員ノ生命ヲ奪ツタ  
数箇ノ虐殺ノ中著ルシイモノハ「マニラ」ニ於イ  
テ八〇〇人ノ男女子供ガ墾「パウロ」大學ノ建物  
ノ中ニ集メラレタ時ノモノデアリマス。

彼等ハ上カラ吊ラレテキル蔽ラシタ五箇ノ「シ  
ヤンデリヤ」ノ下ノ卓上ニ人ヲ誘フ様ニ置カレタ  
菓子ニ引カレテ廣間ノ中央ニ行ツタ。一人ノ日本海  
軍々人ガ紐ヲ引クト「シヤンデリヤ」ノ中ニ隠サ  
レテアツタ数箇ノ手榴弾ガ非常ナ力デ爆發シ建物  
ノ屋根ヲ吹き飛バシ廣間ニ居タ多数ノ者ヲ即死セ  
シメタ。恐怖ニオビエタ生存者ハ熾熱地獄カラ飛  
ゲ出サウトシマシタガ外部ニ計略的ニ配置シテア  
ツタ歩哨ノ機關銃火デ薙ギ倒サレマシタ。數分ト  
カ、ラス眞似事ノ裁判ノ後約二〇〇〇八ノ非戦闘  
員ハ「マニラ」ノ北方墓地ニ並バセラレ、膝マツ  
カサレテ、首ヲ斬ラレタノデアリマス。「フィリッ  
ピン」人第一人者ノ國民的英雄「ラザール」博士  
ノ生誕地トシテ彼等尊崇ノ地「ラグナ」ノ「カラ  
ンバ」ニ於テ二、五〇〇名ノ男女幼兒ガ銃殺或ハ  
刺殺サレマシタ。生き残ツタノハ僅カ數名デアツ  
タ。中央「ガイサヤス」ニ在ル「セブ」ノ「ボン  
ソン」ニ於テ其ノ村ノ全住人ハ村ノ教會ニ集合ス

Doc 6913

ルヤウニ命ゼラレマシタ。一〇〇人ガ其ノ神聖ナ  
壁ノ中デ機關銃ニテ刺殺サレマシタ。残りノ者ハ  
村ノ一隅カラ他ノ一隅ヘト追ヒ廻ハサレ彼等ノ家  
ヤ沼澤地ニ於テ惨殺サレタ。三〇〇名ガ其際虐殺  
サレマシタ。「ベタネス」ノ「ベスコ」ニ於テハ  
八〇名ノ市民ガ捕縛サレ拘留中或者ハタルキニ吊  
サレタリ。燃焼流動体ヲ皮膚ニ掛ケラレタリ他ノ  
者ハ殴打サレテ手ヲ折ツタリ視力ヲ失ツタリシタ  
ガ結局全部斬首サレマシタ。「タブアオ」ノ「マ  
テイナ・ベンギ」ニ於テ一六九名ノ男子婦女及ビ  
子供ガ無惨ニモ殺サレマシタ。

「フィリッピン」ニ於ケル日本軍特ニ憲兵隊ハ  
數千名ニ達スル犠牲者ニ最モ殘虐ナル苦痛ヲ與ヘ  
タ際ニ非常ナル巧妙サト殘虐性ヲ發揮シタ事ヲ示  
ス證據ガ呈出サレルデアリマセウ。彼等ハ「マニ  
ラ」灣ヲ一望ニ收メル古イ「スペイン」ノ石造校  
堡ノ「サンチアゴ」要塞ヲ主要ナ拷問室ト死ノ穴  
ニ變ヘテ終ヒマシタ。「サンチアゴ」要塞ト云フ  
語ハ拷問ト同意語トナリ且ツ日本人ノ殘虐性ノ象  
徴トナツタ。此處デハ數百名ガ暗黒汚穢、虱ノ漫  
延セル房ニテ除々ニ迫リ而モ苦痛多キ死ヲ受ケタ  
ガ彼等ニ對シテ「ダコウ」收容所ノ尋瓦斯室ニ於



Doc 6913

イテ行ハレタヨウナ迅速ニシテ科學的ナル大量殺  
戮ノ方カ却ツテ歡迎サレタデアリマセウ。

Doc 6913

用ヒラレル拷問ノ多クノ形式中最も顯著ナモノハ、  
首ヤ拇指ヤ手足ヲ身体ヲ吊シテ身体ガ宙アラリニ  
ナツテ居ル際ニ足ヤソノ他ノ微妙ナ部分ヲ焼ク事、  
拷問者ノ頑虐性ヤ想ヒツキニ依ル種々ナ方法デノ  
水取メ、又指ノ間ニ彈藥ヲ挟ミ、骨ガ折レル迄指  
ヲ絞メ付ケル方法、舌ヲ引出シタリ、錠子ヲ使ッ  
テ手足ノ指ノ爪ヲ抜ク事、生身ニ火ノ付イタ煙草  
ヤ、燃エテイル木片ヲ當テル事、株ノ手ニ鐵ノ手  
甲ヲ用ヒテ打ツタリ、蹴ツタリ、拳打スル事、長  
イ竹ノ棒、木ノ棒、野珠ノ「バット」ヤ鐵ノ棒ヲ  
以ツテ毆打スル事、其ノ者ヲ柔術テ繰返ヘシテ地  
上ニ投ゲ飛バス事、手ヤ腕ヤ、足ヲ挫ヂ曲ゲタリ  
折ル事、「ロープ」ヤ棘ノ有ル「罫」ヤ鐵條網デ  
鞭打ツ事、銃嘴ニテ毆打スルコト、電氣デ震ヘサ  
セル事、「ガソリン」ヲ皮膚ヤ髪ノ毛ニ撒イテ火  
ヲ付ケルコト、足指ト指ノ爪ノ下ニ小サイ竹ノ棘  
ヲ無理ニサシコム事、手頸ト肩ヲ迫シテ釘デ止  
メテ磔ケニシタ事、耳ヤ鼻ヲ切り落シタリ、目ヲ  
抉リ出シタリシタコト、目ヤソノ他身体ノ急所タ  
ル機關ニ、銃劍ヲ通シタリ、銃イ刺刀ノヤウナ刀  
劍又ハ日本刀デ首ヲ切り落シタリ、水ニ溺レサセ  
タリ、窒息サセタリ、射撃シタリ、又ハ生キタ者  
ヲ埋メタリ、又ハ餓死セシメタリシタ事等デアリ  
マス。



Doc 6913

10

尙ホコノ上ニ所論ヲ進メルニ允キ立チ、コレ等  
ノ殘虐ノ性格ヲ私達ガ記述スル爲メニ既ニ使ヒ、  
又コレカラ用イントスル言葉ノ正確サニツイテ、  
當法廷ノ寛宥ヲ御願ヒスル次第デアリマス。  
コ、デハ私達ハ常ニ中庸テ控ヘ目ノ言葉テ意見ヲ  
述ベルコトガ私達ノ義務デアルコトラ悟ツテキル  
ケレドモ、私共ノ國家ト私共ノ人民ニ對シテ行ヘ  
レタ罪惡ガ、余リニ戰慄的デ、残忍デ、嫌忌スベ  
キモノデアアルカラ、婉曲ナ言葉ニ訴ヘルコトハ眞  
實ニ背クコトニナルノテ御座イマス。

Doc 6913

「アイリツピ」諸島ニ於ケル、ソノヤウナ苛責ト加  
虐淫乱症ノ様々ナル實例ノ中テ吾人ノ證言ハ一九四  
五年二月「マニラ」ノ「バートロウム・ペンズ」ノ  
家ニ於テ、生後十一ヶ月ノ赤子ヲ腕ニ抱イタ妊娠中  
ノ婦人が射殺サレタトイフコトヲ指摘スルモノデア  
リマス。日本人共ハ立去リカケタノデアルガ、ソノ  
赤ン坊ノ泣聲ヲ聞イテ戻ツテ來テ二發ノ射撃デソレ  
ヲ射チ殺シタノデアリマス。「キヤムバス」ノ住居  
デハ一婦人が胸ヲ流多斬ニサレマシタ。聖パウロ大  
學ニ於テハ一人ノ赤ン坊ガ一日本兵ニヨツテ空中へ  
ハフリ上ゲラレ、他ノ兵士カラ銃剣デ刺シ殺サレマ  
シタ。「サントイエゴ」要塞デハ、一俘虜ガ手ノ甲  
カラ一片ノ皮ヲハギ取ラレソノ皮ヲ食ベルヤウニ弱  
削サレマシタ。彼ノ顔面ト腕ノ皮ハ木製ノヤットコ  
デヨジ曲ゲラレマシタ。

「ヴァサヤン」島「レイテ」ノ「バロ・アルト」デ  
ハ「ベラシオ」ノ家族中、女モ一人含メタ三人ノ看  
ガ、一九四二年二月捕縛サレ、後口手ニ縛ラレ、ソ  
ノ腕デ五時間木ノ枝ニブラ下ゲラレマシタ。ソノ三  
人ハ、刺ノ生ヘタ鞭デ血ガ出ルマデ殴ラレマシタ。  
彼等ノ内二人ノ男ハ腋ノ下ニガソリンヲ注ガレテ火ヲ  
ツケラレマシタ。「ユーフレシナ・バヨット」、  
「レイテ」ノ「イノバカン」ニ於テハ、二十四オニナ



Doc 6913

2.

ル娘が捕へラレテ交腰ヲハキトラレ、ソノ胸ヲ刀デ  
切りマクラレ、且焼殺サレマシタ。「イロイロ」デ  
ハ、一九四三年九月十八日、「ルーカス・ドクトレ  
ローナル」着ガ地上ニハリツケニサレ、三本ノ六イ  
ンチノ釘ヲ兩手頸ト頭蓋ノ附根ニ打込マレマシタ。  
「ラムアラン」デハ一九四三年十一月十七日、一人  
盲ノ女ガ自分ノ家カラ引キズリ出サレテ裸ニサレマ  
シタ。彼女ハ弓ナリニ縛リ上ゲラレ、頭ヲ下ニシテ  
木カラアブラ下ゲラレマシタ。  
北部「ルソン」ノ山岳地區ノ「カベヨ」デハ、一九  
四三年三月「タヤムベング・チャグサ」トイフ着ガ  
匹ガロン體入ノ水ヲ飲スト二回強倒サレマシタ。一人  
ノ日本人ガ、ソノ男ノ腰ヲミ上ツタ處ノ上デハネ廻  
リ、ソレカラ兩手ヲ後ロ手ニ縛ラレテ吊リ下ゲラレ  
テキル間ニ棒ノ紐ニ火ヲツケラレ、ソレハ二フイト  
ヲ廻シテ燃エツクシテシマヒマシタ。燃エ廻リハ「  
チャグサ」ノ頭ニ巻キツケラレ、再び火ヲツケラレ  
マシタ。「オグセデンタルネグロス」ノ「ベコロツ  
ド」デハ、一人ノ男ガ棍棒デ毆ラレ、床ノ上ニ投ゲ  
ツケラレマシタ。ソシテ翌日ノ夕方、窓カラ二十フ  
イト下ノ舗道ヘ飛ビ降りルヤウニ強ヒラレマシタ。  
ソノ飛降りノタメニ彼ハ腰ノ骨ヲ折シテシマヒ、四  
ケ月ノ間歩行不能トナツテキマシタ。

Doc 6913

別ノ男ハ「テーブル」ヘ括リツケラレ、ソノ手頸ヲ  
「アリコー」ノ火デ焼ケテ遂ニ肉ノ焼ケタ臭ヒテ室中一杯ニナ  
ツテシマツタノデアリマス。三番目ノ男ハ訊問サレ  
ナガラ腕ニ銃剣ヲ突キサシ、次第々々ニ深く突込マ  
レテ行キマシタ。「セブ」ノ「デューマンジャグ」  
デハ、三オト六ヶ月ニナル子供ガ銃剣デ突キサ、レ  
テ海中ニ投ゲ込マレマシタ。

吾々ノ監言ハ、占領中スーツト様々ナ程度デ繰返サ  
レタ「フイリツピン」ニ於ケル日本人ノ卑劣振ハ一  
九四五年二月ノ「マニラ」最後ノ滅亡ニ類シタ頃ニ  
於テ、最モ下品ナモノトナツタトイフコトヲ證明ス  
ルモノデアリマス。時日ガナイノテ特定ノ諸事件ニ  
就テ充分ニ詳説スルコトハ出来マセンガ我々ノ當座  
ノ目的ニ對シテハ、「ベイ・ウエウ」ソノ他三軒ノ  
ホテルニ於テ日本人ハ「マレイト」社交界デ名ヲ知  
ラレタ多量ノ若い娘達ノ強姦ヲ以テ最高潮ニ達シタ  
野蠻ナ乱行ヲ續ケタトイフコトヲ述べれば充分デア  
リマス。ドイツ人「クラブ」ニ於テハ、婦人達が裸  
ニサレ強姦サレテ殺サレマシタ。地下室ニ詰込マレ  
タ約五百人ノ一般ノ群衆ガ、ドウスルコトモデ  
キナイノテ傍觀シテキル最中ニデアリマス。一人ノ  
若い娘ハ彼女ノ前ヘ闖ルヲ阻ムト首ヲ切ラレマシタ  
ソノ冷クナツタ死体マデモ暴行サレマシタ。「マニ



Doc 6913

ラ「大寺院ニ送ゲ込ンデキタ婦人達が襲ハレマシタ。  
「ベタンガス」ノ「タナウアン」ニ於テハ、妊娠中  
ノ一婦人が、ソノ腹カラ胎児ヲエグリ出サレ、ソノ  
胎児ノ首ヲ斬ラレマシタ。「ベラカン」ノ「オウベ  
ンドウ」デハ、「ジェアン・エツイジエラ」ノ姪が  
他ノ八人ノ女諸共凌辱サレテ銃剣デ突キサシ、内蔵  
ガ飛出スト彼女ハ養魚池ヘ投ゲ込マレタノデアリマ  
ス。

Doc 6913

「イロイロ」デ一九四三年九月二十二日、二人ノ若い娘ガ兩手ヲ後ニ縛ラレ、ソノ衣類ハヘギ取ラレソウシテ後強姦サレマシタ。一九四二年二月二日、「パンパンガ」ノ「サンタ、アナ」デ年輩ノ婦人トソノ女中ガ襲ハレマシタ。「バタートン」ノ「ヘルモサ」ノ「パンシツク」デハ家ノ中ノ男達ハ立退キラ命ゼラレ、後ニ強姦ツタ一少女ガ強姦サレマシタ。其爲メニ彼女ハ妊娠シ子供ヲ生ミマシタ。

一九四二年一月日本ノ「マニラ」占領ノ第一週中、多クノ者ト共ニ二人ノアメリカノ少女ガ強姦サレマシタ。三人ノ日本兵ガ裸デ街ニ出テ、眞登岡市ノ商業區ノ「エスバナ」街ト「ケゾンブールザアード」ノ交叉點ノ雑踏ノ中デ二人女ヲ強姦シマシタ。

吾々ノ證據ハ比島ニ於ケル公私ノ財産ニ對シテ日本ノ侵略ニ依ル戰慄スベキ破壊ニヨリ與ヘラレタ合計約一、三七〇、二六三、三二四弗五〇仙ニ達スル程ルベキ損害ヲ示スデアリマセウ。此ノ破壊ハ大部分緊急ナル狀況及ビ軍事上必要己ムヲ得ザル範圍ヲ遙カニ超過シタモノデアリマシタ。此ノ證據ハ如何ニシテ教會、病院、住宅ガ地雷デ破壊サレタコトヤガソリンヲカケテ火ヲツケラレタコト一市、町、村ガ何等軍事上ノ理由モナク焼カレタコト家ガ掠奪サレ、農場カラ作物、牽引用ノ牛馬、家禽、家畜ガ奪



ヘレタコト、人民カ金錢ヲ貴金門ヲ奪ヘレタコトラ  
明ニスルデセウ。日本軍ハフキリツピンヲ見境ノツ  
カヌ程破壊シ蹂躪スル仕事ヲヤリトゲマシタ。

Doc 6913

Doc 6913

比島ニ於ケル日本人泰行ノ全圖的繪卷ヲ完了ス  
ル爲ニ、日本ガ締約國デアツタ一九〇七年一〇月  
一八日ノ第四「ヘーグ」條約ノ凡ユル重要ナル規  
定及ビ日本ガ威嚇ニ必要ナル權更ヲ加ヘテハアル  
ガ、締約シタ一九二九年七月二七日ノ「ゼネヴァ  
」俘虜ニ關スル條約ニ違反シテ、比島ニ於テ日本人  
ニヨリ加ヘラレタ米國、比律賓及其他聯合國ノ捕  
虜並ニ一般收容者ニ對スル虐待、侮蔑、困苦及死  
ニ就イテ述ベタ證據ガ提出サレルデアリマセウ。

條約違反ノ代表的ナルモノハ、降服シタ者ニ對  
シ戰時捕虜ノ身分ト待遇ヲ與ヘナカツタ事、戰時  
捕虜ヲ公衆ノ好奇心、侮辱及非人道ナ待遇ノ的ト  
ナシタ事、婦人ニ對シ婦人相當ノ考慮ヲ以テ待遇  
シナカツタ事、捕虜ト收容者ニ其ノ軍隊ト國家ニ  
關スル情報ヲ暴露スル樣強制シタ事、時計、萬年  
筆、靴等ノ如キ私用ノ身廻リ品ヲ沒收シタ事、領  
收證ヲ與ヘズシテ彼等ガ所有シタ金ヲ沒收シタ事  
彼等ヲ戰國地域ヨリ徒步デ毎日過辰ナル距離ヲ立  
退カシメタ事、彼等ガ居ルガ故ニ、砲撃ヨリ、ノ  
ガレル爲ニ彼等ヲ或單防的地點ニ置イタ事、衛生  
ト健康ヲ保證セズシテ彼等ヲ假小屋ニ住マシメタ  
事、彼等ニ對シ日本基地營舎ニ支給サレタ宿所及



Doc 6913

疫具ト質量共ニ同等ナルモノヲ與ヘナカツタ事、  
彼等ニ十分ナル飲料水ヲ與ヘナカツタ事、彼等ガ  
必要トシタル、着切ト被切トラ與ヘナカツタ事、  
收容所及其他ノ拘留場ノ清潔ト衛生トラ確保シ又  
疫病ヲ防グ爲ニ必要ナル凡テノ衛生的手段ヲ取ラ  
ナカツタ事、彼等ニ身置ラ清潔ニスル爲ノ十分ナ  
ル水ヲ與ヘナカツタ事彼等ガ運動ヲナシ又戶外ノ  
空氣ニ出スル事ヲ拒ンタ事、彼等ノ爲ニ十分ナル  
病舎ヲ維持シナカツタ事、彼等ニ醫藥ニ對シ支拂  
ヲ要求シ且ツ一月少クトモ一同醫師ニヨル診断ヲ  
モ受ケサセナカツタ事デアリマス。

又捕虜ノ將校ニ對シ、階級ニ拘ラズ、日本兵全  
部ニ對シ敬禮ラスル様要求シタ事、傷病ノ捕虜ヲ  
兵レニヨリ彼等ノ回復ガ危イトナル場合而シテ軍  
事行動ガ兵レヲ必兵トシテイ場合ニモ、移轉セシ  
メタ事、捕虜ノ將校ニ對シ勞働スル事ヲ要求シ、  
下士官ニ對シ監督以外ノ仕事ラスル様要求シタ事  
彼等ヲ一日ニツキ通度ノ長時間働ク事ヲ強制シタ  
事、實際ガ許サナカツタ命令ト雖ドモ勞働ラスル  
様要求シタ事、一週七日働ク事ヲ要求シ又直接作  
戰ト關係アル勞働ヲナス様要求シタ事、彼等ニ不  
健康ヲ危険ナ仕事ヲ行フ様要求シタ事、訓練的手

Doc 6913

彼等ノ勞働狀態ヲ惡化セシメ且日本基地  
本軍隊ガ同様ノ勞働ヲ要求サレル時ノ狀  
態ヨモ惡イ狀態ノ下ニ勞働ヲナス事ヲ要求シタ  
事、彼等ガ其ノ捕虜トナツタ事及健康狀態ニツキ  
彼等ノ家族ニ手紙ヲ書ク事ガ出來ル程便宜ヲ與ヘ  
ナカツタ事、食料及衣類ノアル小包ヲ彼等ガ受ケ  
取ルコトラ拒ミ且彼等宛ノ小包ヲ奪ツタ事、彼等  
ニ對シ強固ナ處罰ヤ拷問ヲ加ヘタ事、何人ノ行動  
ノ爲メニ彼等ニ固固ノ罰ヲ加ヘタ事、一處逃亡シ  
テ再び逮捕セラレタル捕虜又ハ市民ニ對シテハ卅  
日以内ノ處罰ヲ課スルト云フ規定ナルニ不倫死刑  
又ハ其他ノ罰ヲ加ヘタ事、拘留中ニ死亡シタ者ハ  
名簿ヲ以テ埋葬サレ又ソノ墓ニハ總ベテノ必要ナ  
ル報告ガ記サレ、尊重サレ且正當ニ保存サレル様  
留意シナカツタ事、反軍事的ニモソノ援助ヲ受ケ  
ル事ガ何等故降ヲ來サヌ時デサヘモ正式ニ設立サ  
レタ戦時捕虜救済團匯ガ捕虜ニ對スル、食料、衣  
類及機材品ヲ與ヘルニツキテノ凡ユル便宜ヲ與ヘ  
ナカツタ事デアリマス。



Doc 6913

段ニヨリ彼等ノ勞働狀態ヲ惡化セシメ且日本基地  
營舎ノ日本軍隊ガ同様ノ勞働ヲ要求サレル時ノ狀  
態ヨリモ惡イ狀態ノ下ニ勞働ヲナス事ヲ要求シタ  
事、彼等ガ其ノ捕虜トナツタ事及健康狀態ニツキ  
彼等ノ家族ニ手紙ヲ書ク事ガ出來ル様便宜ヲ與ヘ  
ナカツタ事、食料及衣類ノアル小包ヲ彼等ガ受ケ  
取ルコトラ拒ミ且彼等宛ノ小包ヲ奪ツタ事、彼等  
ニ對シ強固ナ監視ヤ拷問ヲ加ヘタ事、個人ノ行動  
ノ爲メニ彼等ニ監視ノ罰ヲ加ヘタ事、一處逃亡シ  
テ再び逮捕セラレタル捕虜又ハ市民ニ對シテハ卅  
日以内ノ懲罰ヲ課スルト云フ規定ナルニ不拘死刑  
又ハ其他ノ罰ヲ課ヘタ事、捕虜中ニ死亡シタ者ハ  
名簿ヲ以テ埋葬サレ又ソノ墓ニハ總べてノ必要ナ  
ル報告ガ記サレ、尊重サレ且正當ニ保存サレル様  
留意シナカツタ事、及軍事的ニモソノ援助ヲ受ケ  
ル事ガ何等故降ヲ來サヌ時デサヘモ正式ニ設立サ  
レタ臨時捕虜救済團區ガ捕虜ニ對スル、食料、衣  
類及醫藥品ヲ與ヘルニツキテノ凡ユル便宜ヲ與ヘ  
ナカツタ事デアリマス。

Doc 6913

比律賓ニ於ケル俘虜ニ對シテ行ハレタル殘虐ノ最モ  
人心ヲ戰慄セシムルモノハ「バタアン」ノ死ノ行進デアツテ其行  
進中二萬一千名ノ米兵及ビ六萬二千人ノ比律賓兵即チ  
「バタアン」ニ於ケル永イ英雄的抵抗ニヨリ文明世  
界ノ賞讃ヲ拈シタル少數ノ勇敢ナル軍ノ疲勞憔悴セ  
ル殘存部隊ハ燒クガ如キ熱帯ノ炎天下約百二十軒ノ  
道ヲ食物モ水モ無シニ七日乃至十一日間行進ヲ強要  
サレマシタ。全行進ヲ通ジテ之等ノ俘虜ノ多クハ強  
リ飛バサレ或ハ拳打サレ毆打サレ或ハ銃劍ニテ刺殺サ  
レ又ハ銃殺サレタ彼等ノ米人約千二百名及ビ比律賓  
人一萬六千名ノ毆打ハ斯クシテ虐殺サレ屠殺スルニ  
任セテ跡ニ遺棄サレマシタ。其ノ當時米軍ハ充分ナ  
ル自動車及ビ「ガソリン」油ノ貯藏ヲ持ツテ居リ夫  
レハ日本軍ガ一九四二年四月十日ニ降服シタル全部  
ノ米比軍ヲ輸送スルニ使用スルコトガ出來タノデア  
ルカ彼等ハ使用シナカッタ。此ノ行進ガ終ツテモノレ  
ハ決シテ「バタアン」英雄ノ殉難ノ終焉デハナカッ  
タ。「オードンネル」俘虜收容所ニ於テハ充分ナル  
食糧及ビ醫藥上ノ保護ヲ彼等ニ具ヘズ病氣ニシテ肉  
体的ニ不可能ナル行ニモ彼等ニ勞役ヲ強要シ些細ナ  
ル規則違反ノ爲メニ彼等ヲ所稱及ビ拷問ニ以セシメ、



Doc 6913

人タルモノ、居住ニ迫セザル不潔ニシテ減少ナル住  
所ニ彼等ヲ詰メ込ムコト等ニ依リ日本人ハ更ラニ米  
比軍精銳ノ大部分ノ間接的殲滅ヲ遂行シタノデアリ  
マス、毎日俘虜收容所ニ於テ米比人ハ飽ノ様ニ死亡  
シテ居タ、一九四二年八月一日迄ノ間ノミテ千五百  
二十二名ノ米人及ビ二萬九千人ノ比律賓人ハ其所デ  
死亡シマシタ。

「バタアン」行進ニハ「ミンダナオ」ニ於テ好個ノ  
對照ガアツタ。一九四二年七月四日約六百名ノ米比  
人俘虜ハ米國獨立紀念日ヲ氣味悪ク回想サセラレマ  
シタ。其ノ時「キースレイ」俘虜收容所ヨリ「イリ  
ガン」マデ三十八軒ノ距離ヲ炎天下ニ行進スルコト  
ヲ強要サレマシタ。多クノ者ハ靴ト帽子ガ無カツタ、  
途上多クノ者ハビドク應待サレ殺名ノ者ハ射殺サレ  
マシタ、一九四二年五月六日ニ八千名乃至一萬名ノ  
米比人俘虜ハ「コレビドール」ニ於テ食物モ與ヘラ  
レズ便所設備ノ無イ船舶ノ船倉内ヘ竄ミ込マレテ疲  
勞困憊ノ状態ニテ「マニラ」ノ棧橋デハナク「デエ  
ウェイ・ボウレザアード」附近ニ下船サセラレ夫レ  
ヨリ炎天下ニ「ホールド・ビリビッド」陸藥所マデ  
十五哩間ヲ行進スルコトヲ強要サレマシタ。



Doc 6913

一九四四年十二月十四日ニ「バラワン」島「ブエル  
ト・プリンセサ」ニ於テ百五十名ノ米人俘虜ハ各長  
サ約七十五呎高サト幅四呎ト三呎ノ參個ノ空襲避難  
所ニ押シ込マレマシタ、突然日本人ハ「バケツ」ニ  
投杯ノ「ガソリン」油ヲ注ギ込ミ夫レニ彼等ハ炬火  
デ火ヲツケタ、彼等ハ彼等ノ小銃及ビ機關銃デ其ノ避  
難所ニ射撃シナガラ笑ツタ、絶叫スル米人俘虜ハ彼  
等ガ其ノ避難所ヲ走り出ルト射殺サレマシタ五人ハ  
能ク海岸ニ向ツテ突進シ其ノ灣ヲ横切ツテ五哩ヲ泳  
イデ逃レルコトガ出来マシタ。

一九四二年五月中三百名ノ瘦セ衰ヘタル米人俘虜ハ  
「タヤバス」ノ殆ンド進入スルコトノ出来ナイ「マ  
ラリヤ」ノ宿舎ヲ通シテ一道路ヲ建設スル爲ニ「ビ  
リビッド」監禁所ヨリ送り出サレマシタ。「マラリ  
ヤ」ト赤痢ニ依リ殆ンド死ンデ居ル様ナ之等ノ人々  
ハ衣服モ帽子又ハ靴モ無クテ手押シノ一輪車ト轆轤  
ト「シヤベル」トラ以ツテ炎天ノ中ニ勞役スルコト  
ヲ強要サレマシタ。彼等ハ一息ノ休息ヲトラウトシ  
タ爲メ々々轆轤ノ柄ヤ銃剣ノ鞘ヲ以テ殴打サレタ。  
彼等ハ赤痢「マラリヤ」及ビ露出ノ爲死亡シマシタ  
而シテ生殘者ハ小川ノ不潔ナル水ヲ呑ミ露天ニ生活

12.



Doc 6913

23.

シナガラ岩ノ多イ小川ノ洲デ地上ニ睡眠シテ居マシ  
タ、日本ノ衛兵ハ氣持テ良ク天幕ノ中ニ生活シテ居  
ツタ、充分ナル食物ト適宜ナル藥品トハ具ヘラレナ  
カッタ、飲ヘテ、澁松ヲ着テ、病氣シタ。僅カニ七  
十五名ノ者ハ死ナナイデ其ノ工事ヲ済マセマシタ。



Doc 6913

「サンチャゴ」要塞ニ於テ、「マニラ」爆撃ノ際、監サレタ三名ノ米國操縦者ハ、刀デ肩ヲ刺サレタリ、火ノツイタ巻煙草デ焼カレタリシマシタ。彼等ノ指ニハ孔ガ穿ケラレ、針金ガ通サレ、ソシテ彼等ハ針金デ吊サレマシタ。一名ノ操縦者ノ身体ハ焼カレ、他ノ一名ノ身体ハ麻痺サセラレマシタ。

「バネイ」ニ於テハ、米國俘虜ハ、一九四二年五月ニ於ケル彼等ノ降服後、彈藥集積所及食糧貯藏所ノ所在ヲ示ス様強制サレマシタ。彼等ハ大日圓、日本衛兵ノ列シタ米ノ屑文デ、水モ食物モナク、アチラコテラ山ノ中ヲ歩キ廻ラセラレマシタ。米軍將校達ハ、苦力ノ如ク、日本組賞物ノ積却シヲサセラレタノデアリマス。

「ニコルス・フイールド」ニ於テハ病氣ノ米軍俘虜ガ、一日働クモ十一回ハ、飛行場ヲ横切ツテ一軒ノ園ヲ、岩石ヤ土塊ヲ運ンダ重イ車ヲ押シタリ曳ツ張ツタリサセラレマシタ。ソシテソノ日ノ夕方迄ニ要求サレタ最少運搬回數ニ達シナイ場合ハ、資シイ鞭打、鞭打ヲ受ケマシタ。俘虜達ガ意圖ヲ失フ迄水療法ヲ加ヘタリ、傷病ノ柄ヤ、鉢ノ床尾デ殴ルコトハ、普通兵ヘラレル處罰ノ形式デアリマシタ。今一ツノ拷問ノ種類ハ、水ノ一杯ニ

24.



Doc 6913

ハイツタバケツヲ頭ニ載セテ、浮島ヲ暑イ太陽ノ  
下ニ、氣ヲ付ケノ姿勢デ立タセルコトデアリマシ  
タ。若シ水ガ少量デモコホレレバ、彼ハ恐ルベキ  
殴打ヲ受ケマシタ。一九四三年九月「ジエームス・  
エドワード・ストロウホーシ」軍曹ハ兩手ヲ後手  
ニ縛ラレ、二十四時間荷上ニ吊サレマシタ。食物  
モ水モ與ヘラレズ、彼ハ日中ハ太陽ニ、夜間ハ雨  
ニ曝サレマシタ。ソノ後デ彼ハ辨々鞭ヲ殴打サレ、  
拳銃ノ搦リテ顔面ヤ頭部ヲ打ツレマシタ。  
我々ハ、コレ等ノ暴虐行爲行使ノ以前、ソノ國、  
及ビソノ後ニ於テ、日本政府及ビソノ指導者ハ、  
米國及ビ「フイリツピン」俘虜並ニ一般抑留者ハ  
良好ナル取扱及ビ給食ヲ受ケテ居リ、今後モ受ケ  
ルデアラウト確言シタコトヲ示シマス。例ヘバ、  
一九四二年二月二十四日、日本政府ハ當時ノ外相、  
東郷被告ヲ通ジテ、米國人一般ハ「條約ニ依ッ  
テ企圖セラレタヨリモヨリ良好ナル」方法ヲ以テ取扱  
ハレルデアラウシ、彼等ノ「パン、バター、卵、  
肉、燃料油、石炭及脂肪」ノ給與ハ日本ニ依ツテ保  
證サレルデアラウト証明シマシタ。一九四二年  
三月九日、日本政府ハ東郷被告ヲ通ジテ、米國民  
ハ日本軍當局ニ依ツテ寛大ナル取扱ヲ受ケツツア  
ル旨、米國政府ニ確言シマシタ。「知ラレザル筋



Doc 6913

ヨリノ情報ニ基キ且ツ何等正確ナル事實ノ例證ナ  
キ米國政府ノ危惧ハ、故ニ、根拠ナキモノデア  
ル」トモ確言シマシム。

然シナガラ、我々ハ、暴虐行爲イ處待ノ明確ナ  
「正確ナル事實」ガ、正式抗議ヲ以テ、適時日本  
政府並ニソノ指導者ニ對シ注意サレテキタコトヲ  
示ステアリマセウ。而モ彼等ハ、米國政府ヨリ、  
不注意又ハ故意孰レノ暴虐行爲及ビ處待ニ對シテ  
モ公的、私的ニ責任ヲ有スル者ハ、ソノ地位、身  
分、階級ヲ問ハズ、處罰サレルデアラウト繰返シ  
警告サレテキタノデアリマス。

一九四二年十二月十二日付ノ「ハル」覺書ニ於  
テ、米國政府ハ「ロイ・ベネット」及ビソノ他ノ  
米國人ガ監禁サレテキルト報ゼラレタ「サンチャ  
ゴ」要塞ノ野蠻的ナ状態、「サント・トーマス」  
「ダヴァオ」ソノ他ノ「フィリッピン」内抑留所  
ノ劣悪ナ状態、「バターン」ヨリ「オドシネル」  
抑留所ニ至ル死ノ行進、「オドシネル」抑留所ニ  
於ケル言語同斷ナ状態ニ對シテ注意ヲ向ケ且抗議  
ヲ行ヒマシタ。右覺書ヲ通ジテ、米國政府ハ日本  
政府ニ對シ「極メテ強硬ナ抗議」ヲ提出シ、一般  
人、戦争俘虜、孰レノ米國民ニ對シテ興ヘラレタ  
非人道的、非文明的取扱ハ直チニ調査サレ、且ツ



Doc 6913

27.

日本政府が「デエネバ」條約ノ規定及ヒ精神ニ一  
致セザル取扱ハ現在ニ於テモ又將來ニ於テモ米國  
民ニ對シテ爲サザル旨ヲ確言スルコトヲ期待シマ  
シタリ

Doc 6913

一九四三年四月五日附「ヘル」覺書ニ於テ合衆國政府ハ日本政府ニ對シ「米國人俘虜ニ對シ日本政府ガコレ以上約束ニ違反シ、又ハ文明諸國ニヨリ同意且實行サレテイル戦時法規ニ違反シテ米國人俘虜ニコレ以上ノ犯罪的發行ヲ加ヘルナラバ米國政府ハ今軍事行動ガ進行シテワリ戰ハ容赦ナク且ツ不可避的ニソノ終局ニ近ヅキツ、アル故斯カル非文明且非人道的行爲ノ責任者タル日本政府官吏ニ彼等相當ノ罰ヲ加ヘントスルモノデアルトト警告シマシタ。

一九四四年二月五日附西公使暨翰ノ中ニ含マレテキル日附無シノ「ヘル」覺書ニ於テ、合衆國政府ハ米比人俘虜及一般人抑留者ノ虐待ニ對シ再ビ抗議シ次ノコトヲ詰問シマシタ。「バキオ」デ一般人抑留者達ハ靴ナク下帶一ツデ勞働ヲ強イラレタコト、「マニラ」ニ連レテ來カレタ「コレヒドール」ノ俘虜ハ「マニラ」港デナク同市郊外ニ上陸シ、一九四二年五月二十三日頃同市内ヲ通り「ビリビト」監獄迄行進ヲ強ヒラレタト深刻ナ「ビタミン」不足ニ罹ツテイタ「ダバオ」流刑地ノ俘虜達ハ柑橋ノ實ツテイル木ヲ收容所カラ眺



メナガラソレヲ取ルコトヲ許サレナカッタコト又  
 彼等ハ收容所ヲ貢流スル川ニ流レテイタ「レモン  
 ー」ヲ拾ヒ上ゲルコトモ許サレナカッタコト、米人  
 將校俘虜ハ床拭キ、日本人部隊使用ノ兵所掃除、  
 日本人將校ノ炊事等ノ様ナ下等ナ仕事ヲ含ム凡ユ  
 ル種類ノ勞働ヲ強制サレタコト、一九四二年七月  
 十名ノ米人技師ヘ「コレヒドール」地域ノ軍事施  
 設再建ヲ援助スルタメ同島ニ行クコトヲ強要サレ  
 タコト、比島ニ於ケル俘虜ノ健康状態ハ悲惨ナル  
 状態ニアッタコト、ソノ例トシテ一九四二年四月  
 「サン・フェルナンド」デ米比人俘虜ハ鐵條網ノ  
 柵内ニ押込メラレ餘リノ混雜ニ睡眠モ休息モ不可  
 能デアッタコト、多クノ病人ハ殆ンド看護シテ貰  
 ヘズソノ爲汚物ガソノ全區域ヲ覆ッタコトガ舉  
 ゲラレテアリマス。「バターン」カラ一サンフェ  
 ルナンド」迄百軒以上ノ距離ヲ行進セラレタ者  
 ノ多クハ衛兵ニ射殺又ハ銃劍デ刺殺サレタコト、  
 「オドンネル」收容所ノ状態ガ甚ダシク不良ナタ  
 メ最初ノ数ヶ月ノ抑留中米人二千二百名比島人二  
 万名餘ガ死亡シタト傳ヘラレテイルコト、「カバ  
 ナチユアン」ニ於テハ俘虜ガ收容所ヲ過シタ五ヶ  
 月間、「マラリア」病治療ノタメノ藥ガ全然無カ



Doc 6913

ツタコト、「マラリア」病ノ猖獗地トシテ知ラレ  
ル「ロス・ベノス」ノ収容所ニ於テハ「キニ・ネ  
」ハ興ヘラレズ収容者ハ橋外ニ出テ「マラリア」  
病ノ治療ヲスルコトヲ許サレナカツタコト、「オ  
ドンネル」収容所デハ多クノ看護ヘ「一九四二年中  
夏」ナシテ生活シナケレバナラナカツタ。二十三名  
ノ將校ガ面積十四呎ノ場所ヲ割當テラレタコト、  
飲料水ガ甚ダ少量ノ爲一杯飲ムノニ六時間又ヘ十  
時間並ブ必要ガアツタコト、同収容所デハ將校ヘ  
最初ノ三十三日間入浴出來ナカツタコト、「一九四  
二年十月ノ終リ頃約九百七十名ノ俘虜ガ一人當リ  
僅カニ二十呎ノ寢場所ヲ提供スルニ過キナイ運送  
船デ「マニラ」地區カラ「ダバオ」流刑地ニ移送  
サレタコト、「ベキオ」ノ「ヘイ」収容所ニ於テ  
ヘ二十名乃至三十名ノ一役人ガ一人用ニ出來テイ  
タ一室ヲ寢室トシテ割當テラレタコト、「カベナ  
デユアソン」デハ「ロイド・ビグス」「ヘワイド・  
ブライタソン」兩中佐及「R・D・キルバート」中  
尉ガ逃走ヲ企テタ廉デ臨ク打チ奇マシ瀕リ掛リノ  
比島人ガ棍棒デ彼等ノ顔面ヲ打ツコトヲ強制サ



Doc 6913

レタコト、實ニ「バキオ」デヘ「グレ」氏ガ  
ラレ意圖回復ニ永ラ掛ケラレタコト、以上デアリ  
マス。

一九四四年九月十一日ノ「ヘル」覺醒ニ於テ米  
國政府ヘ或米人收容者ガ「ロス・ベノス」カラ  
大キナ暴動集積所ノアル「マツキンレイ」要塞ニ  
移サレタコトニ對シ抗議ヲ申込ミマシタ。



一九四五年四月六日、「アチソン」覺書ニ於テ、  
 合衆國政府ハ「グリソンネル」「ダグルビー」「ラ  
 ーセン」及「ジョンソン」ト謂フ何レモ「サントト  
 マス」俘虜收容所ノ抑留者タル四人ノ亞米利加市民  
 ラ殺害シタ件ニ付キ抗議シマシタ。一九四五年五月  
 十九日、「グルー」覺書ニ依リアメリカ政府ハ一九  
 四四年十二月十四日「ブエルトブリンセサ」ニ於テ  
 行ハレタ百五十名ノアメリカ人俘虜虐殺事件ニ對シ  
 抗議シマシタ。右覺書ノ最後ニハ「日本政府ハコノ  
 犯罪ニ就キ責任ヲ免レルコトハ出來ナイ」ト言フ警  
 告ガ爲サレテキタノデアリマス。

更ニ我々ハ此等ノ覺書ニ於テ日本政府ガ繰返シ與  
 ヘタ保證ニ反シ「アメリカ」及「フィリッピン」ノ  
 俘虜及一般人抑留者ガ引續キ故意ニ侮辱サレ飢餓ニ  
 曝サレ、虐待サレ酷使サレ且殺害サレタコトヲ立證  
 スルデアリマセウ。右ノ保證ノ聲明ハ全ク明白ニ虛  
 偽デアツタカラ一九四五年三月十日合衆國政府ハ「  
 グルー」國務長官代理ヲ通シ覺書ヲ送ツテ左ノ主張  
 ヲ爲シマシタ、即チ、「此等ノ最モ重大ニシテ驚ク  
 ベキ根本的ナ人道ニ違反セル行爲ハ、俘虜ニ對シ人  
 道的待遇ヲ與ヘテキルト言フ日本政府ノ屢次ノ表明  
 ニ甚シク抵觸スルモノデアル。日本政府ハ右以外ノ  
 約束違反及人道違反ノ行爲ニ就キテモ、ソノ非ヲ認



Doc 6913

メズ、合衆國政府ノ抗議ガ事實ノ誤解ニ基クモノデアルト申述ベテ來タ。合衆國政府ハ事實ヲ誤解シテキルモノデハナイ。コレ等ノ非行ノ報告ヲ爲シタ者等ヘ自ラソレニヨリ害ヲ被ツタ人々デアルト。

所謂「日本ノ保證スルパン、バター、鶏卵、食肉、煖房用油、石炭及脂肪ノ支給」ナルモノハ俘虜並ニ一般人抑留者カソノ抑留中日々通常支給セラレタ三百瓦ノ米ト十瓦ノ野菜ト言フ實際ノ飢饉的食事トハ甚シク相隔ツタモノデアリマシタ。比律賓ノ收容所ハ食物ノ豐富ナ場所ニ存在シ且日本人警備兵達ハ山ノ如ク豊富ナ米、カラバオ、肉、牛、豚、鶏、鮮魚、乾魚、醬油、味噌及「ビール」ヤ「ウキスキー」等ヲ攝ツテキタガ俘虜ヤ抑留者達ハ体重ノ減退ニ悩ミ又脚氣、皮膚病、壞血病、象皮病ノ如キ營養不足ニ因ル疾病ノ爲メ死亡シツツアリマシタ。

最後ニ、吾々ノ末尾ノ證據ハ米國ノ俘虜及一般人抑留者ニ對シ人道的待遇ガ與ヘラレ又與ヘラレルト言フ日本政府ノ允モラジキ言明ノ虚偽ト偽善トニ止メラ刺スモノデアリマス。吾々ノ證據ハ一九四二年七月ニ東京ヨリ發セラレタ一極秘ノ政策指令ヲ明ルミニ持出スデアリマセウ。コノ指令ハ俘虜收容所ノ指揮官等ニ對シ白人俘虜達ヲ勞働ニ使役シ、以テ收容所所在ノ住民ヲシテ、日本人ガ白人ニ優ル者ナルコトラ感得セシムル様ニ命ジタモノデアリマス。

33.